



福永隆子様をしのぶ会

平成 29 年 2 月 21 日 (火)
若林区文化センター展示ホール

1 月 6 日、あかねの創設者で初代代表の福永隆子さんが、94 歳にて逝去されました。あかねグループの歴代代表や O G、会員有志が発起人となり「しのぶ会」が開催され、福永さんを慕う多くの方々が全国から集い、思い出を語りあいました。福永さんの性格をあらわすような様々なエピソードが語られるたびに会場は泣き笑いに包まれ、暖かく貴重な時間を分かち合うことができました。皆様、ありがとうございました。そして福永さん。本当にありがとうございました。



福永さんの写真とお花



語り合うお客様 / 献花の様子

八木 吉美

「あなたは福祉部よ」。入会直後、福永さんの一言でヘルパー第一号となり、ひたすら福祉活動に専念することとなりました。福永さんが「生みの親」、私たちが「育ての親」として新しい活動につなげたものです。

福永さんのケアマネジャーを担当させていただいた11年は、その生き方を学ぶよい機会でもありました。昨年、草創期のメンバーが訪れたあの時の笑顔を忘れることはありません。

いずれあちらでまた福永さんのグループに入会するその時まで、しばしのお別れです。

藤田 佐和子

福永さんと出会ったことで生き方が変わりました。「あなたなら出来るわよ」という言葉に乗せられ、女性の自立と社会参加を目指す団体のリーダーに…。いつしかあかね色に染まり市民活動にはまってしまったのは福永さんのお蔭です。

35 年前、保守的なみちのくで有償ボランティアの道を切り開き、数々の可能性に挑戦し、幾つもの団体の立ち上げに関わったバイタリティーとパワーは多くの人を惹きつけ、後に続く私たちにその後ろ姿を見せてくださいました。超高齢社会に“助け合いの灯り”をともしというバトンは、しっかりと受け継がれています。見守っててください。

武田 美江子

初めての出会いは、あかねの仕出しを利用しその支払いに行った時。「お暇？ ちょうどよかったわ、ちょっと電話当番をしてください」とシンポジウムの電話対応にひきこまれました。仙台在住 6 年目、地域に根ざした活動をと入会し、通い始めました。

「やりたいことが見つかったら止まってはだめ、一步が無理なら半歩、それも無理なら足踏みしながら考える。いつも前へ出る準備を」という力強い言葉に勇気をもらいました。

福永さんが夢を見て語った「夕日は沈まない」、高齢になっても安心して暮らせる地域づくりのため、あかねは努力していきます。